

活動報告

令和5年5月～令和5年12月

末吉の活動は地元の方々や関係各位のご尽力により支えられています



両毛6市議員懇談会会長に就任



福富公園北側の道路水路に蓋を設置



消防団消防活動訓練視察



全国議長会研究フォーラム (北九州市)



常任委員会視察 (豊田市)

姥川の浚渫工事開始

足利市の梁田地区を流れる「姥川」は矢場川支流の小規模河川です。

普段は穏やかな小川ですが、河道断面が狭いため、台風やゲリラ豪雨ですぐに溢水してしまいます。現在、栃木県で「安全な川づくり事業」として、姥川延長3.3kmに渡り河道拡大工事を行っています。時間のかかる事業ですので、まずは溢水しやすい梁田小学校周辺の「溜まった土砂や繁茂する水草の除去」を地元から要望されていました。市を通じて県へお願いしていたところ、姥川(足利市管轄のエリア)と排水路(通称:大排水)に続き、県管轄エリアの浚渫等工事が令和5年11月より始まりました。無尽蔵にお金と時間があれば防災対策はいくらでもできます。しかし、そこに限りがある以上、今できる事を少しずつでも実施し、救える命や財産を増やしていくことが肝要と考えます。引き続き災害に強いまちづくり、人づくりを目指して参ります。



除草・浚渫が実施された塩島橋付近

まちなかエリアで無電柱化の方針

電柱や電線の地中化等による「無電柱化」には、交通事故防止や防災力の強化、観光客のホスピタリティー改善など様々なメリットがあります。また、スカイラインがすっきりして、魅力ある歴史的な景観作りにも繋がります。タイミングも重要ですので、大日西及び中央土地区画整理を機に推進すべきと考えます。「歴史的風致維持向上計画(通称:歴まち計画)」策定により財政措置もありますので検討の価値があります。これらを総合して鏝阿寺、足利学校周辺の無電柱化推進を提言してきました。この度、令和5年6月一般質問で「シンボルロード(※2)で無電柱化を実施する」旨の答弁がありました。現在のシンボルロードは特に歩道が狭隘で危険です。架け替えられる中橋、そこから市役所に伸びるこの道が無電柱化され、道路も拡幅します。歴史観光都市として、恥じない魅力あるエリアになることを期待しています。



電線が縦横無尽に走るシンボルロード



ドローン実証実験視察 (市内)



中学校出張議会 (市内)



関東若手議員の会視察 (TOPPAN)



関東若手議員の会視察 (赤ちゃん先生)



令和5年3月議会 一般質問 (令和5年3月9日)

結果に繋がる計画策定
～中心市街地の活性化～

【末吉】策定中の「まちなか賑わいプラン(※1、以後「賑わいプラン」)」の狙いを実現するためには、より実態に則した政策や事業の展開が必要。検討委員会とは別に、実務者レベルで深い議論ができる別組織を検討できないか。

【総合政策部長】実務担当者レベルで意見交換を行い、内部で検討して可能な限りプランに反映していきたい。

【末吉】「賑わいプラン」はまちなかの活性化を目指した構想のようなものであり、実効性の高い事業立案や検証体制を組み上げた計画も必要。歩行者の視点、歩きたくなるまちというエッセンスを加えた「ウォークアブル推進計画」の策定で、国からの財政支援を受けることも検討しては。

【都市建設部長】「賑わいプラン」の中で足利らしい、歩いて楽しいまちなかづくりに取り組んでいく。

<末吉の主張>

「足利市中心市街地活性化基本計画」策定から四半世紀が経過する。実態に合わせた実効性のあるプランが必要。

※1…足利市が策定している「まちなかの20年後」を見据えたランドデザイン

令和5年6月議会 一般質問 (令和5年6月22日)

保育所・保育園へ積極的な支援を
～子ども達を最優先に考えるまちづくり～

【末吉】民間保育園は新しくなった認定こども園に比べ、建物が狭隘で老朽化している場合がある。児童たちが今まで以上に安心、快適に過ごせる園舎を目指し、施設整備を積極的に後押しすべきではないか。

【健康福祉部長】建設、修繕等を検討される場合は、補助の有無も含め担当に相談するよう、改めて案内する。

【末吉】ゼロ歳児の入所は年度途中が多く、徐々に園児が増加していく。年度途中での保育士確保が困難なため4月から確保しているが、その間は余剰とみなされた保育士の給付費は支給されず、園の持ち出しとなり運営を圧迫している。同期間の給付費の補填について検討する必要がある。

【健康福祉部長】国・県の動向を注視しながら、補助制度の在り方について引き続き研究を重ねていく。

<末吉の主張>

保育所等整備後期計画により、年間約4,600万円程度の経費抑制が見込まれている。これらは子どもたちのための施設整備費や人件費などに活用すべき。

中橋、渡良瀬橋ライトアップで魅力的な足利に

【末吉】観光客の宿泊率、観光消費額などを定期的に調査し、事業の効果を検証し、さらなる一手を。

【産業観光部長】足利市観光協会とも連携して検討する。

【末吉】イベント型の夜景観光と並行し、常設型の夜景観光資源を増やすことで、さらなる効果が期待される。例えば渡良瀬橋、中橋のライトアップは渡良瀬川の利活用、中心市街地の活性化にも大きく寄与する。

【産業観光部長】渡良瀬橋など常設の夜景を付加することで滞在時間の延長や新しい人の流れが生まれる可能性、効果について、有識者等の意見も聞きながら研究していく。



多くの来場者を集める「足利灯り物語」

<末吉の主張>

イベント型からの脱却で観光客を平準化し、観光産業の底上げに繋げることができる。



▲詳細

景観整備と迅速な区画整理でまちなかに賑わいを

【末吉】事業進展が見える化するため無電柱化と区画整理の中でシンボルロード(※2)を優先して整備できないか。

【都市建設部長】区画整理に合わせてシンボルロードで無電柱化を計画している。ブロック単位で施工する等の工夫をして事業を進めたい。

【末吉】中央土地区画整理事業ではどの程度石畳舗装を取り入れるのか。

【都市建設部長】地域の要望もあり幹線道路以外は石畳舗装を計画している。



無電柱化された大日東エリア

<末吉の主張>

歴史観光都市を目指して各施策を着実に進めるべき。

※2…通2丁目交差点から市役所に抜ける都市計画道路家富町堀込線

◆「市役所庁舎と市民会館」「自動運転社会への対応」「渡良瀬川の活用」「史跡藤本観音山古墳と史跡榊崎寺の保存活用」「公園の活用」等についても質問しました。



▲詳細

▶ 詳しくはホームページの議事録等をご覧ください